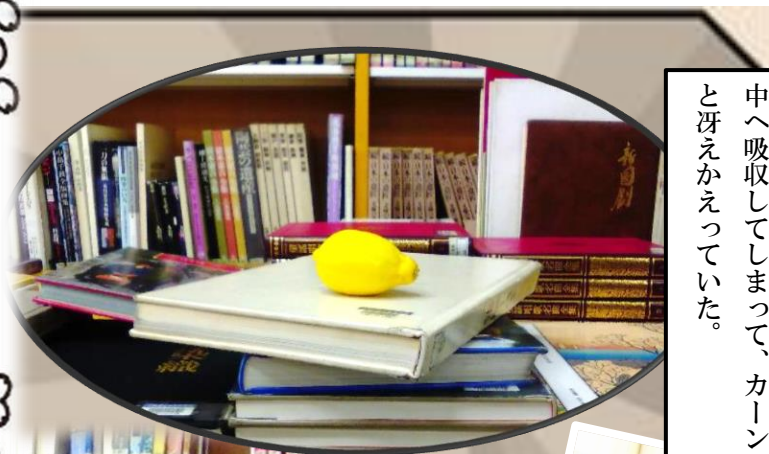


れもん
その檸檬の冷たさは
たてようもなくよかった。

『檸檬』 梶井 基次郎/著 KADOKAWA

p9



見わたすと、その檸檬の色彩
はガチャガチャした色の階調
をひっそりと紡錘形の身体の中へ
吸収してしまつて、カーンと
冴えかえっていた。

軽く跳りあがる心を制しながら、その城壁の
頂きに恐る恐る檸檬を据えつけた。



がしい
はっ



おまちください



※↑原作にはないシーンです。